



追手門学院小学校 校長
東田 充司

東館惜別会および豪州国際交流25周年

追手門学院校友会山桜会の皆様には、日頃より本校の教育活動の推進に対して、多大なるご理解とご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

〔さようなら東館〕

7月1日(土)、新東館(メディアラボ)への建て替えを控えて、33年の役目を終える東館の惜別会を執り行いました。東館は創立90周年記念事業の一環として、昭和60年に建設しました。アナライザーを備えた教育工学室、語学学習室としてのLL教室、児童閲覧室だけで355㎡もの広さの図書館など、時代を先取りする専科教室棟でした。

ご参加いただきました山桜会の皆様を代表して平泉憲一会長よりご挨拶を、林裕悟副会長より在学当時の思い出を語っていただきました。多くの皆様方にご出席を賜りました。



出席者と本校教職員の集合写真

〔オーストラリア国際交流25周年〕

7月19日から28日まで、35名の児童と共に、交流25周年を迎えるホーランドパークステイトスクールを訪問しました。25周年記念式典には、在ブリスベン総領事柳井啓子氏、クィンズランド州教育省 Michelle Cowell氏にご臨席いただきました。



式典後の記念撮影

9月15日から20日まで Anthony Gribbin校長先生はじめ引率教員6名、児童30名が、本校を訪問されました。5泊6日のホームステイや、様々な授業体験など、たくさんの日本文化を学んでいただきました。交流25周年記念歓迎式典では、ご来賓として94期卒業生の中山泰秀衆議院議員、川人公一元校長、伊勢田善昭元校長、森義和元教頭をはじめとする旧教員の方々にお越しいただきました。また、林芳正文部科学大臣、河野太郎外務大臣からはビデオメッセージを送っていただき、式典に花を添えていただきました。



校門前での出迎え

新東館に向けて

追手門学院小学校 教頭 井上 恵二



いよいよ小学校の運動場に解体工事と現場事務所のための仮囲いが作られました。先に行われた建設予定地の試掘調査で豊臣時代の地層が発見されたため、工事は平成30年2月中旬まで埋蔵文化財の調査と解体工事が平行して進められます。旧東館の時のように豊臣時代の遺構や遺物が発見されれば、子どもたちに生きた歴史学習の場を設ける予定です。その後、3月上旬

までには本格的に新築工事に入ります。その頃には仮囲いが更に、運動場内側に張り出すこととなります。手狭になった運動場でも児童の運動量が減らないよう工夫した学校運営を考えています。また、来年度の秋季体育大会も校内で行う予定です。そのため、工事壁面や重機を移動し、運動場トラックを確保するなど工事関係者と細かく打ち合わせしながら最も良い方法を取りたいと考えています。

までには本格的に新築工事に入ります。その頃には仮囲いが更に、運動場内側に張り出すこととなります。手狭になった運動場でも児童の運動量が減らないよう工夫した学校運営を考えています。また、来年度の秋季体育大会も校内で行う予定です。そのため、工事壁面や重機を移動し、運動場トラックを確保するなど工事関係者と細かく打ち合わせしながら最も良い方法を取りたいと考えています。

